

令和4年6月24日
JR芦屋駅南地区再開発事業
調査特別委員会説明資料
都市建設部都市整備課

JR芦屋駅南地区再開発事業について

1 地下駐輪場整備（集約化の進め方）について

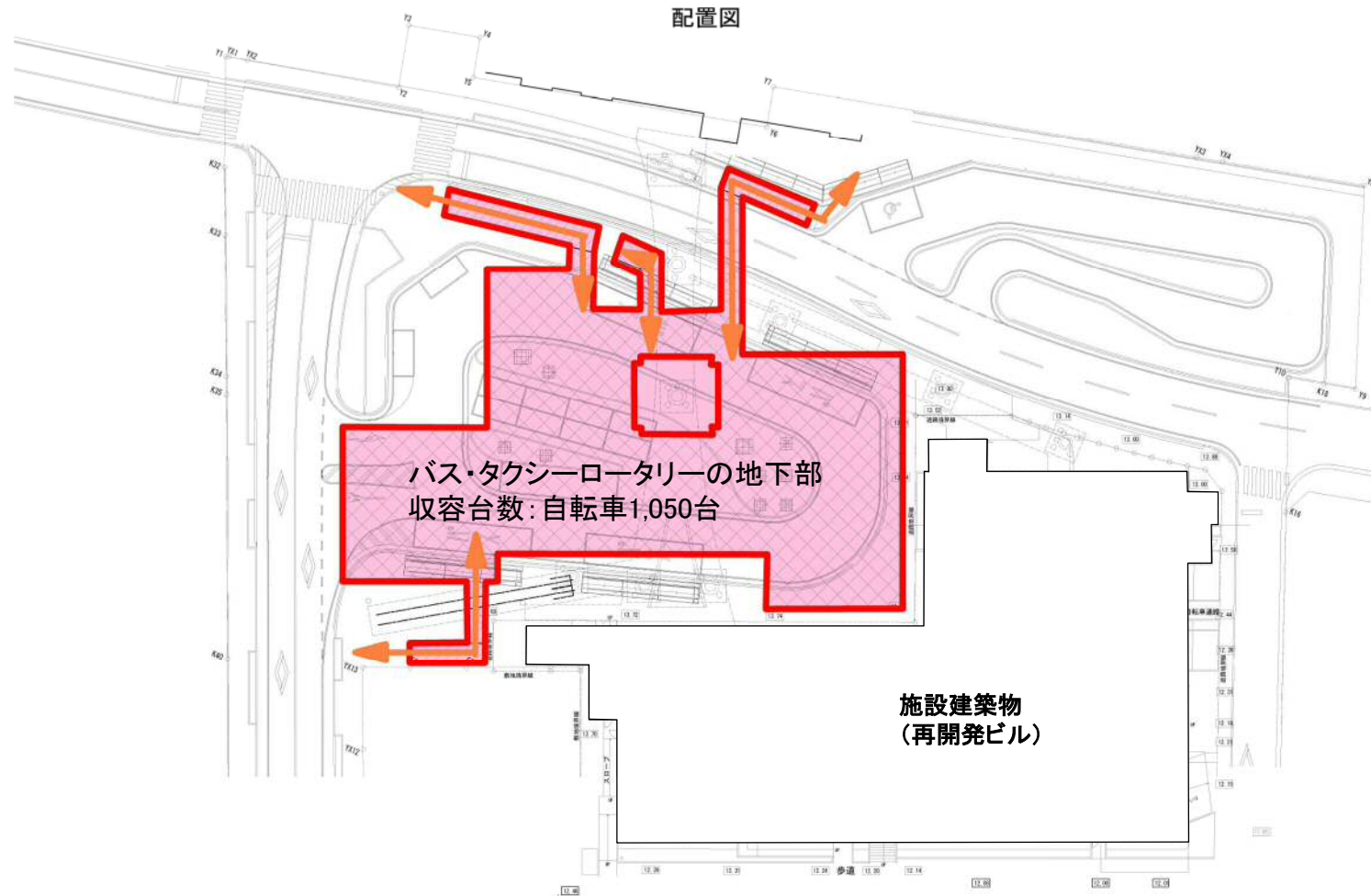
JR 芦屋駅南地区 第二種市街地再開発事業

地下駐輪場整備（集約化の進め方）

芦屋市都市建設部都市整備課

新設駐輪場計画図

計画平面図

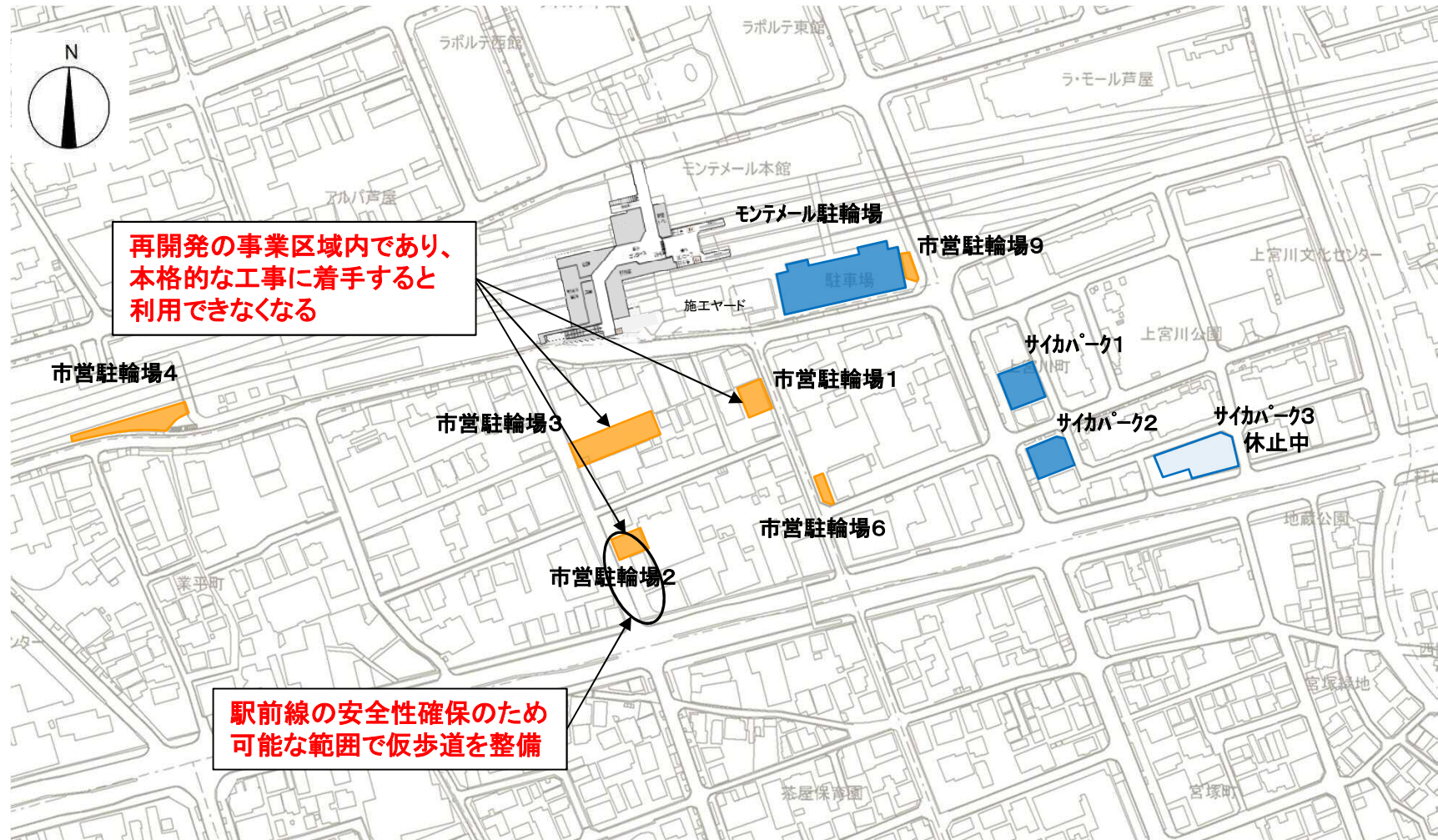


駐輪場集約化までの課題

現在、JR芦屋駅南地区には下図のとおり駐輪場が設置されている。（■市営、■民営）

【課題】市営駐輪場1，2，3は再開発事業の本格工事が始まると利用できなくなるため、代替駐輪場が必要となる。

【その他の課題】駅前線は十分な歩道がなく車両と歩行者が混在して危険と隣り合わせの状態である。



駐輪場集約化までの課題への対応

収容台数確保の基本的な考え方は、可能な限り現状の台数を確保しつつ、新設駐輪場が供用開始される時点の需要予測台数を下回らないようにしながら、下記対応を行う。

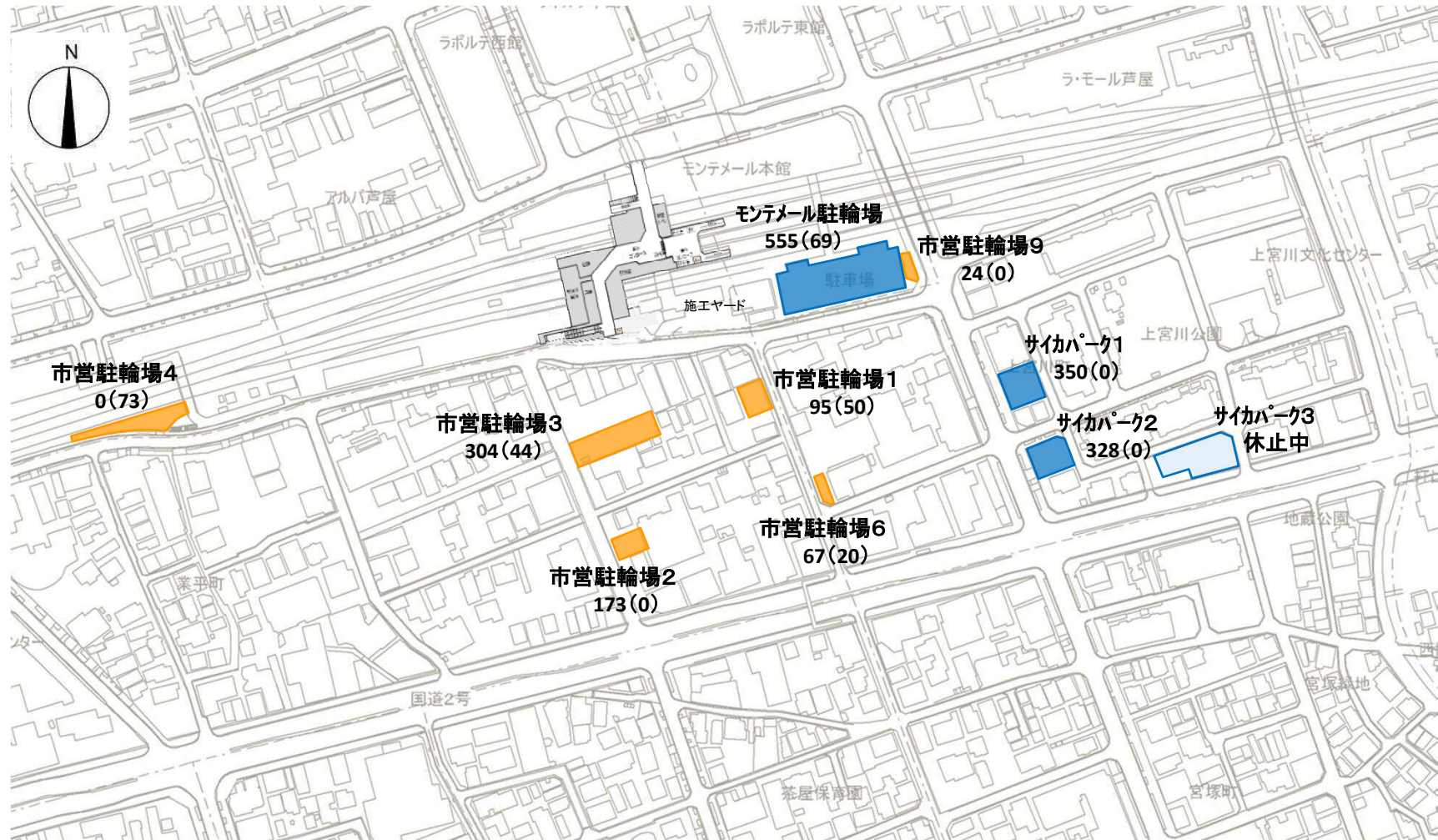
- 現状の収容台数合計：自転車1,896台、原付256台
- 新設駐輪場供用開始時点の需要予測台数：自転車1,772台、原付184台

- ① 駅前線における交通課題にいち早く対応し、可能な範囲で仮歩道を整備するため、市営駐輪場2を廃止する。
- ② 市営駐輪場2の廃止に伴う代替駐輪場は、市営駐輪場1の南側隣接市有地および市営駐輪場3の北側市有地に確保する。なお、現在利用者への混乱を避けるため、代替駐輪場は市営駐輪場2廃止の1ヶ月前から供用を開始する。
- ③ 再開発事業の本格工事に着手すると、市営駐輪場1と3は利用できなくなるため、現在稼働を休止しているサイカパーク3を再開して代替駐輪場とする。
- ④ サイカパーク3の再開でも不足する収容台数は、JR西日本(株)の敷地を借りて仮設駐輪場の増設により対応する。

集約化までのステップ【現状】

現状の地区周辺における収容台数の合計は以下のとおり

収容台数合計：1,896台（256台） ※サイカパーク3は休止中のため含めず



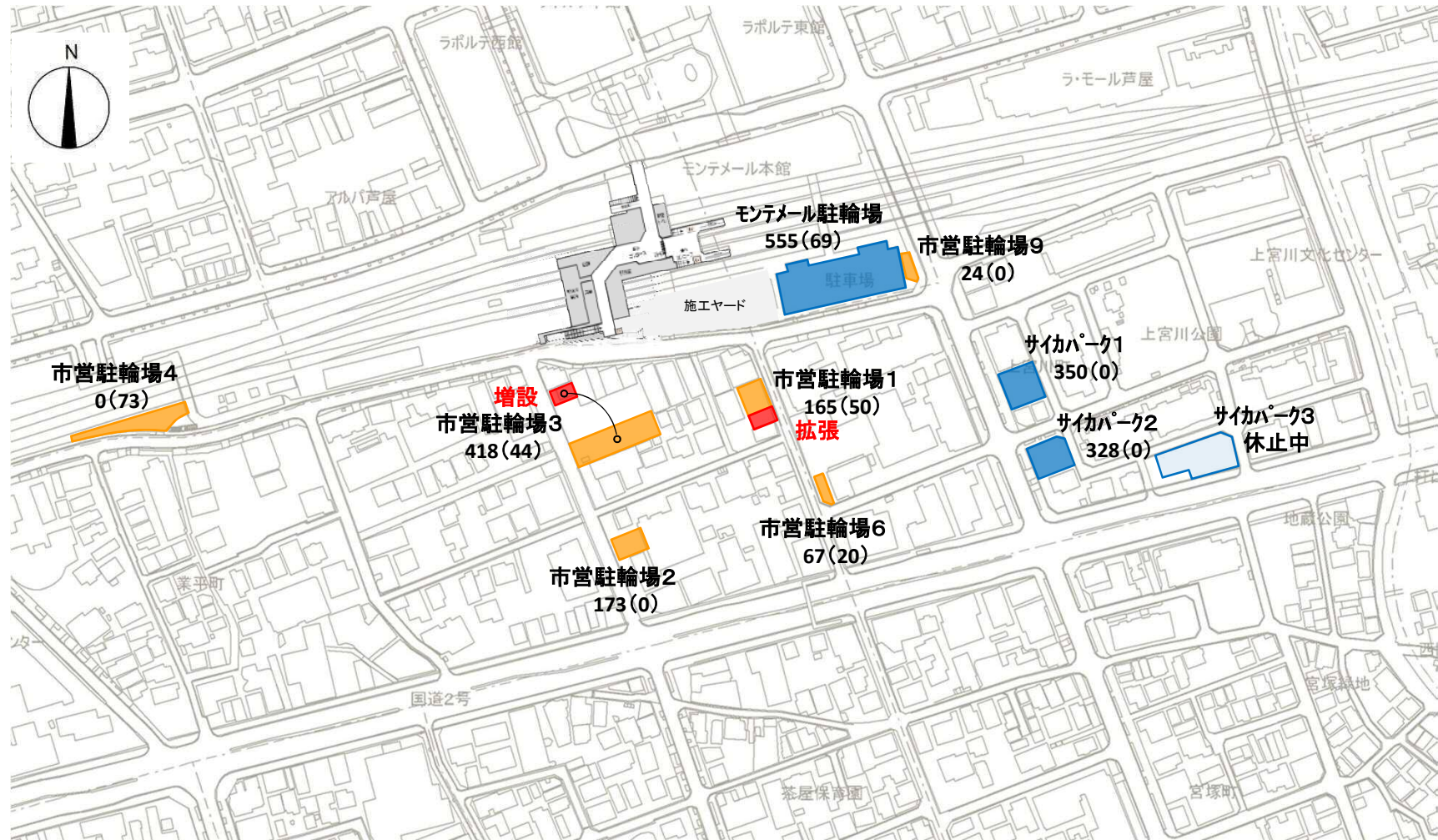
※収容台数表記：自転車（原付）

※図中の数字は令和4年6月時点での想定の数値であり、現地の状況等を考慮して適宜変更となる可能性があります。

集約化までのステップ【step.1】令和4年10月～

一月後の市営駐輪場2の廃止に備えて、市営駐輪場1を南側隣接市有地側へ拡張および市営駐輪場3の北側市有地へ増設により代替駐輪場を確保

収容台数合計：2,080台（256台）



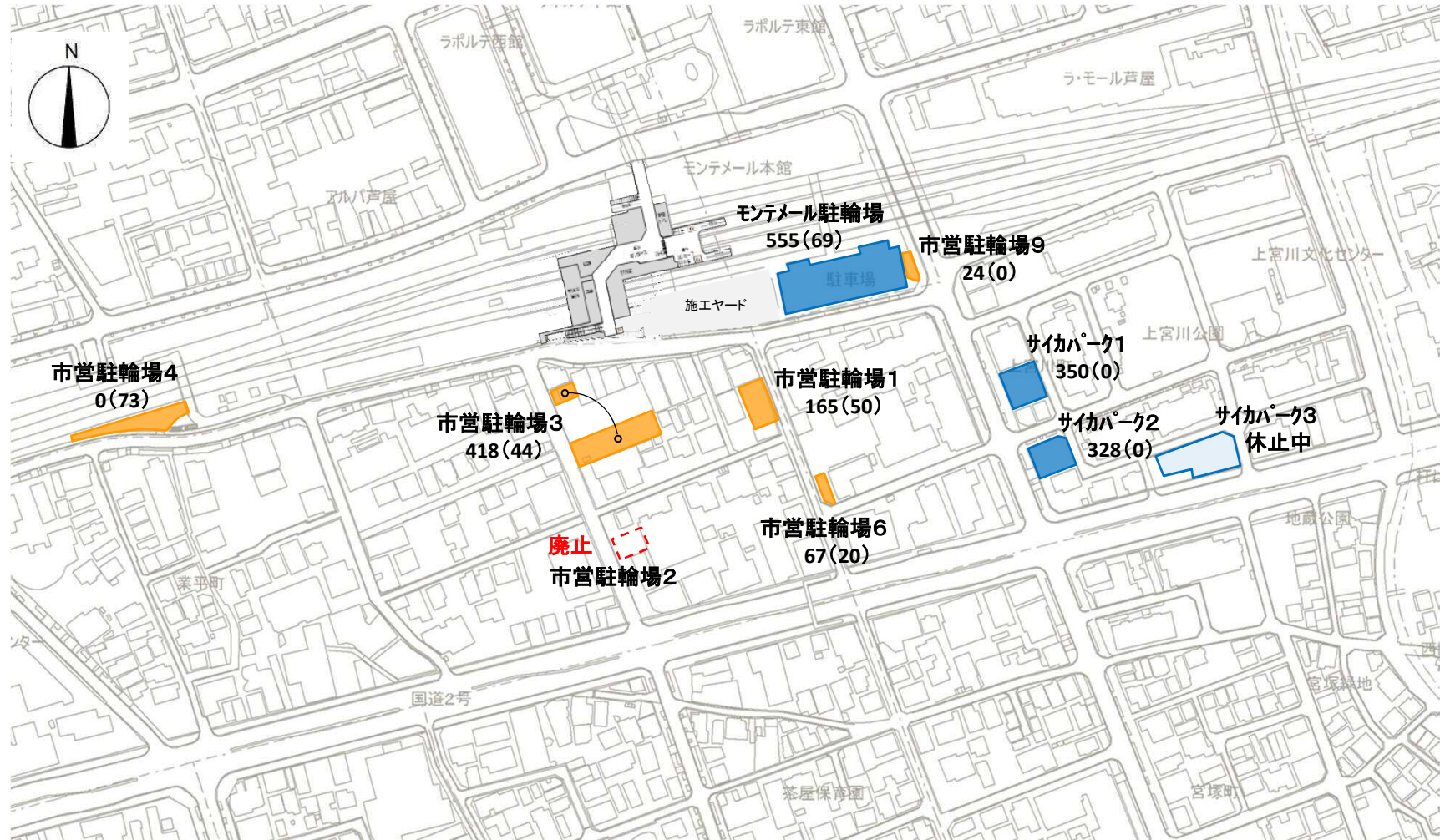
※収容台数表記：自転車（原付）

※図中の数字は令和4年6月時点での想定の数値であり、現地の状況等を考慮して適宜変更となる可能性があります。

集約化までのステップ【step.2】令和4年11月～

駅前線における歩行者の安全確保として仮歩道を整備するため、市営駐輪場2を廃止

収容台数合計：1,907台（256台）



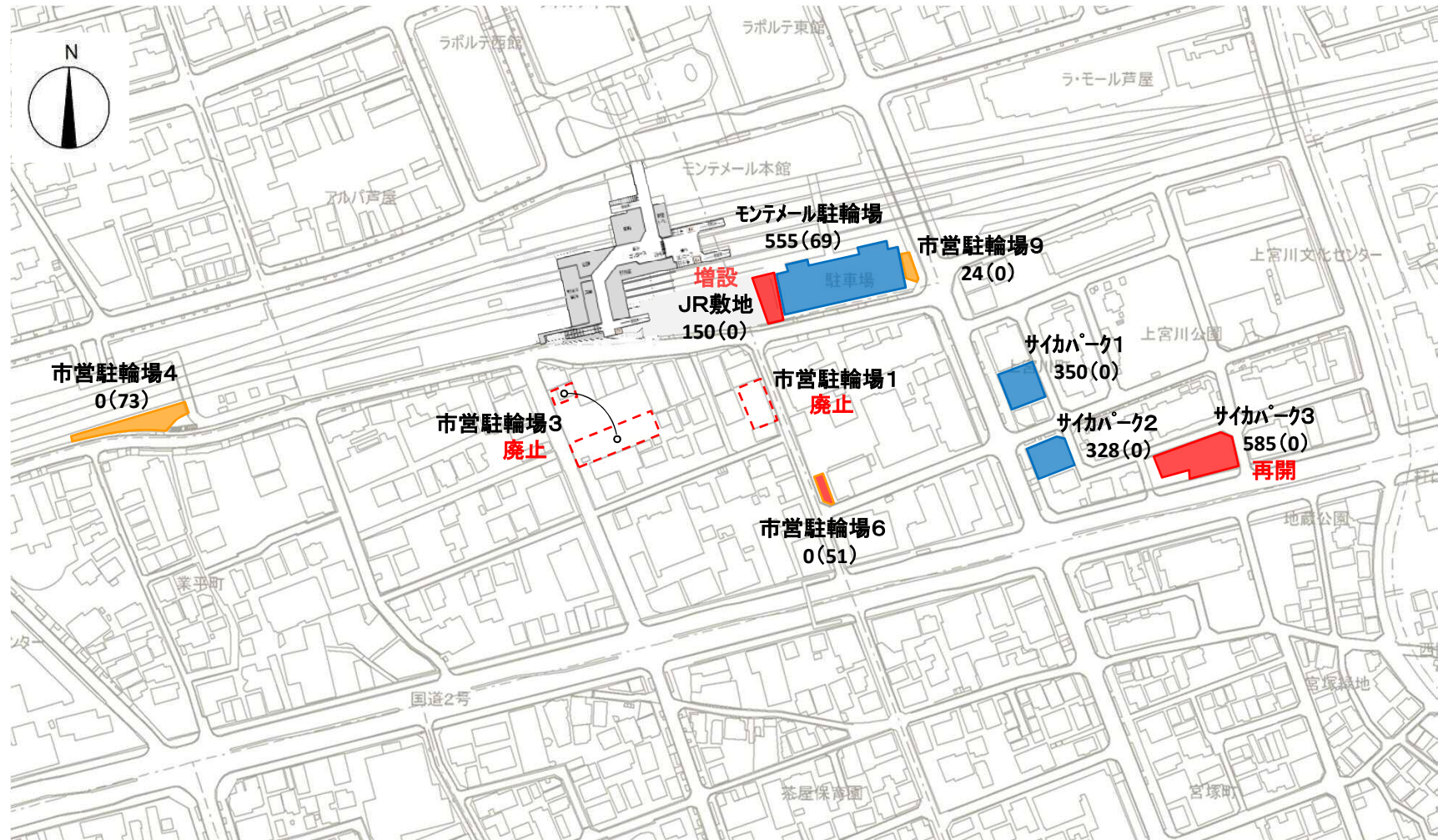
※収容台数表記：自転車（原付）

※図中の数字は令和4年6月時点での想定の数値であり、現地の状況等を考慮して適宜変更となる可能性があります。

集約化までのステップ【step.3】令和6年度（予定）～

再開発事業の本格工事着手に伴い市営駐輪場1と3を廃止、市営駐輪場6を変更、サイカパーク3を再開、JR敷地内仮設駐輪場を増設

収容台数合計：1,992台（193台）



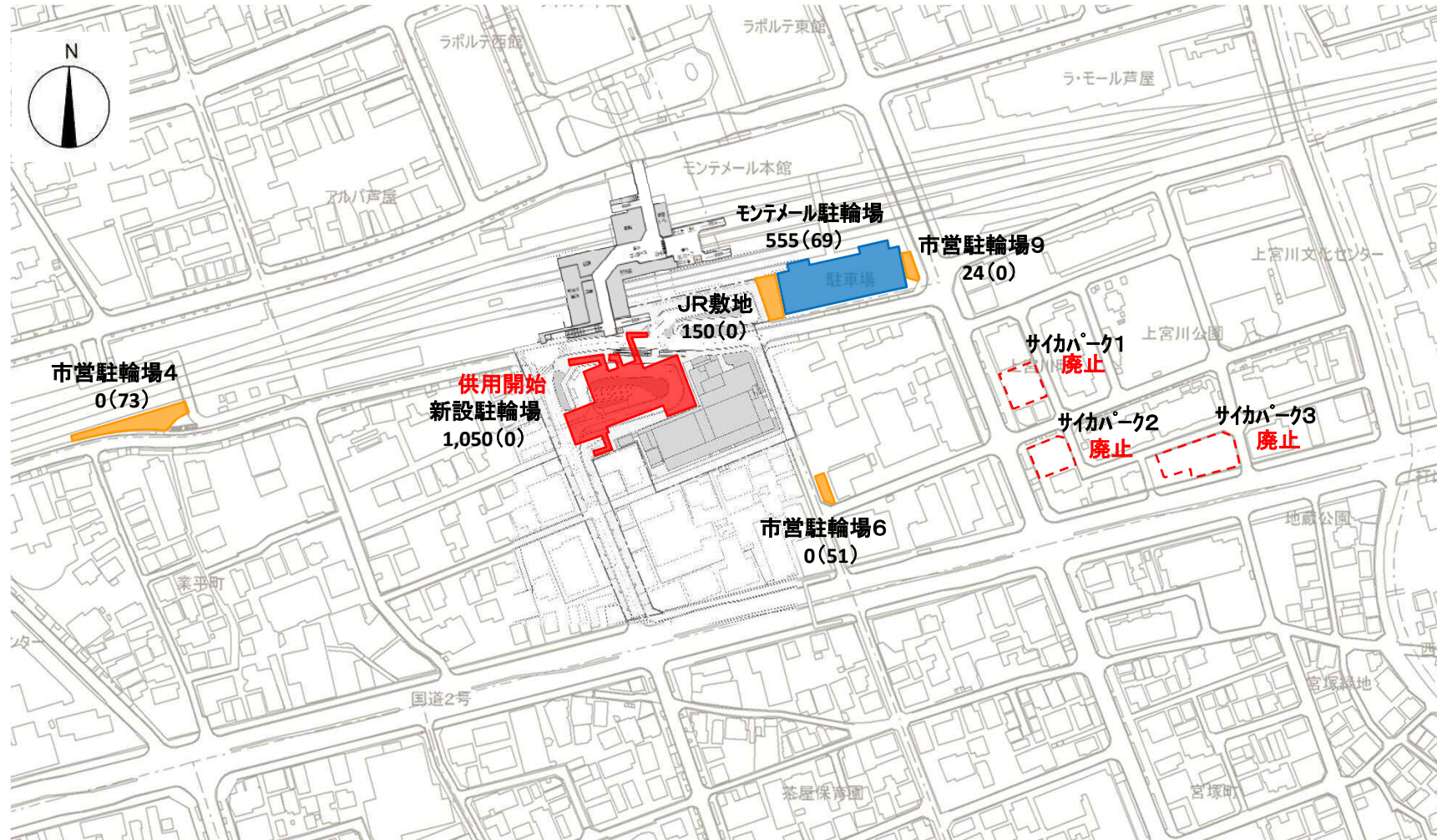
※収容台数表記：自転車（原付）

※図中の数字は令和4年6月時点での想定の数値であり、現地の状況等を考慮して適宜変更となる可能性があります。

集約化までのステップ【step.4（新設駐輪場供用開始）】

新設駐輪場の供用開始に伴い、サイカパーク1，2，3を廃止

収容台数合計：1,779台（193台）



※収容台数表記：自転車（原付）

※図中の数字は令和4年6月時点での想定の数値であり、現地の状況等を考慮して適宜変更となる可能性があります。

【参考】需要予測と計画台数（新設自転車駐車場）

※R2.11.26調査特別委員会で報告済

令和元年10月に示された人口推計結果を基に需要予測を行い計画台数を設定している。
 ※平成22年の人口推計結果を基に行っていた当初計画（平成26年度作成）を、令和元年の人口推計結果を用いて令和2年度に見直しを行ったもの。

収容台数

令和元年度時点における地区周辺の収容台数 2,172台（274台）
 【参考】：平成26年度調査（当初計画）時点 2,479台（311台）

利用台数

令和元年度時点における地区周辺の利用台数1,475台（188台）稼働率68%（69%）
 【参考】：平成26年度調査（当初計画）時点 1,790台（190台）稼働率72%（61%）

当初計画（H22人口推計）

計画見直し（R1人口推計）

需要予測台数

計画年次 平成37年
 人口伸び率 99.3%
 (H26→H37)

1,966台（213台）

計画年次 令和8年
 人口伸び率 96.7%
 (H26→R8)

1,772台（184台）

計画年次 令和23年
 人口伸び率 87.3%
 (H26→R23)

1,429台（146台）

整備必要台数

モンテメール駐輪場を控除
 1,596台（123台）

モンテメール駐輪場、自転車駐車場4、9を控除
 1,389台（21台）

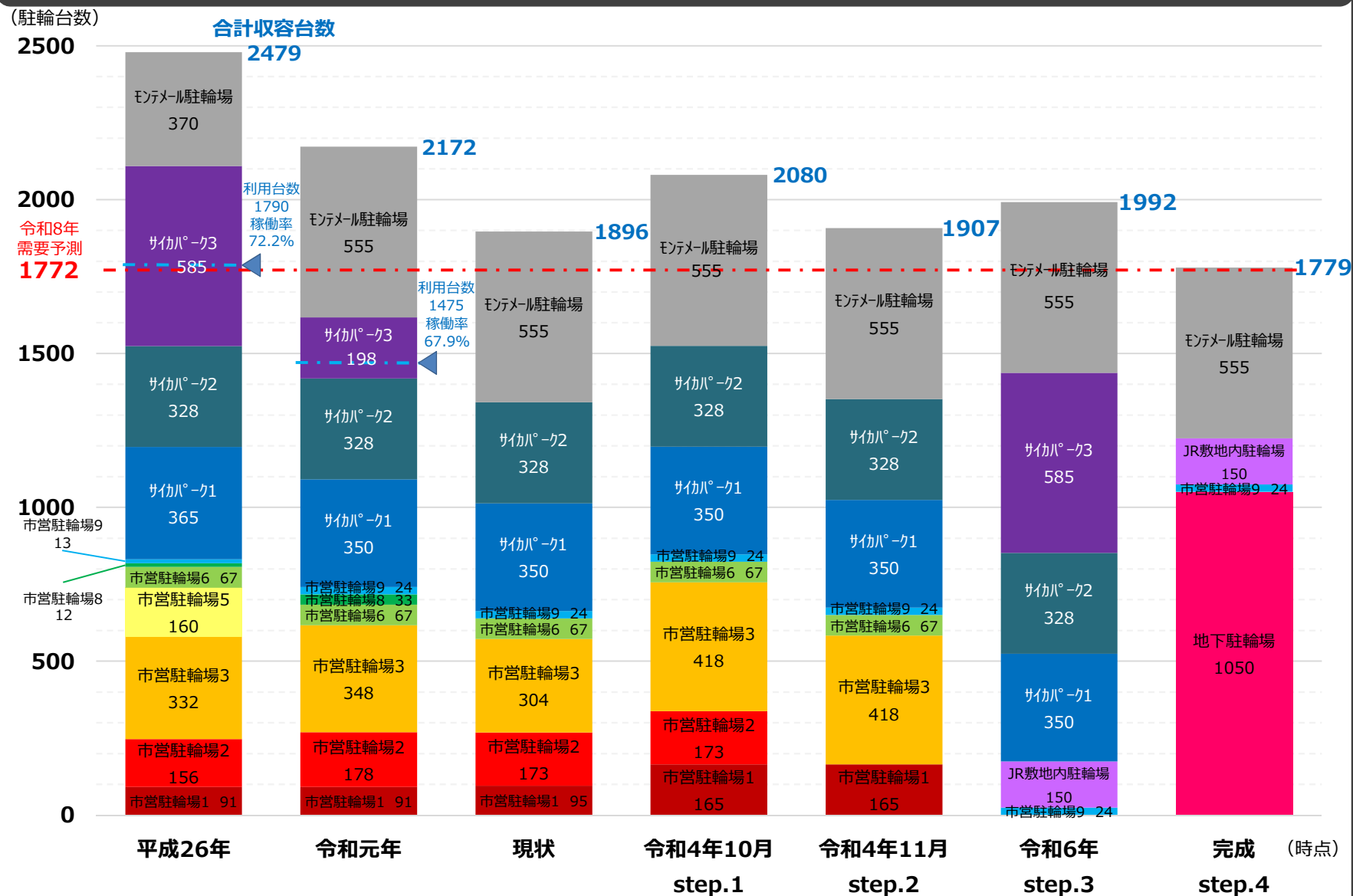
1,046台（0台）

計画台数

新設自転車駐車場の計画台数は令和23年を想定し、約**1,050台**とする。
 令和8年時点との差 約340台 はJR西日本敷地等を活用して暫定対応

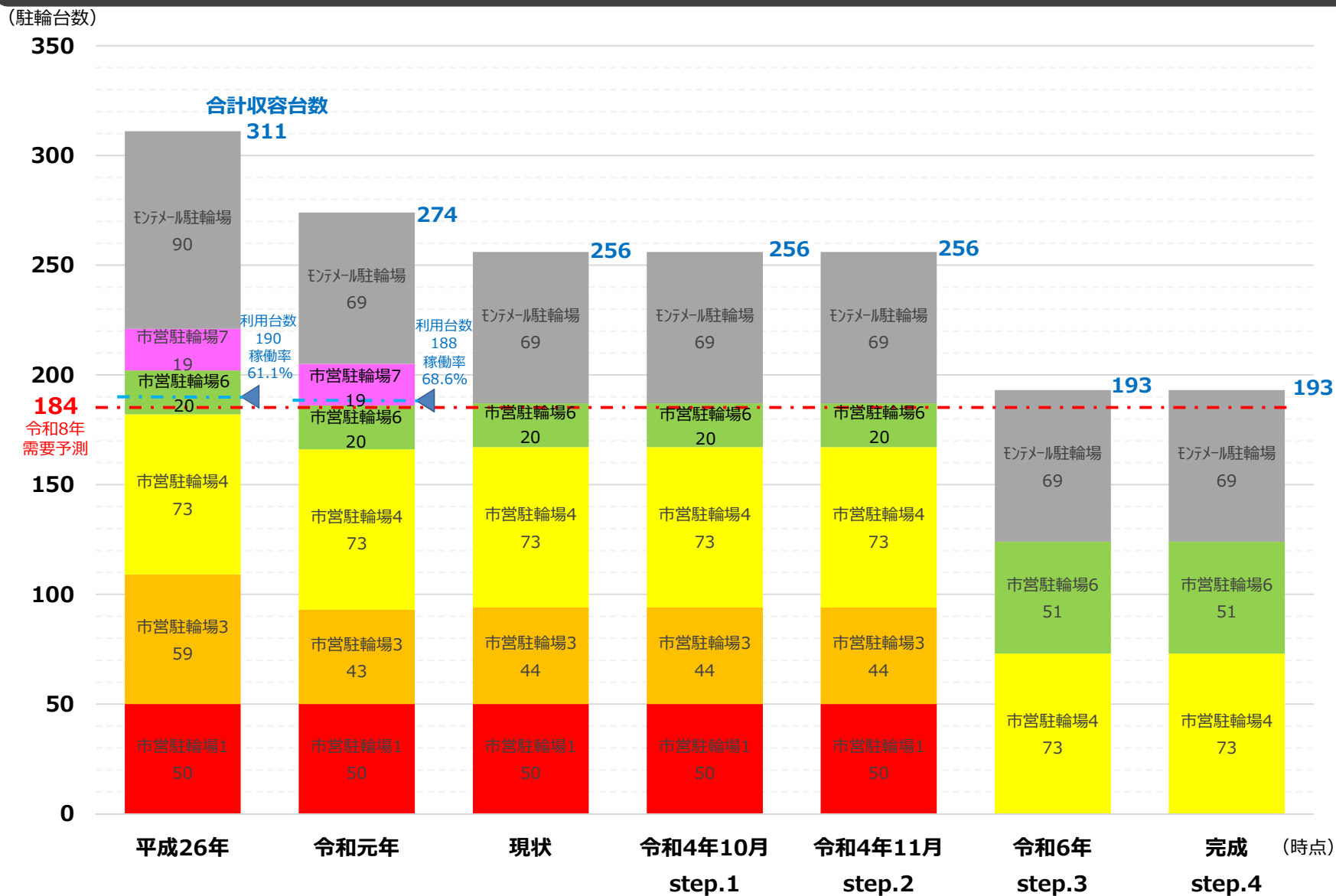
※台数表記：自転車（原付）

【参考】JR芦屋駅南地区 駐輪場 集約化推移グラフ（自転車）



※グラフ中の「現状」以降の数字は令和4年6月時点での参考の数字であり、現地の稼働状況等を考慮して適宜変更となる可能性があります。

【参考】JR芦屋駅南地区 駐輪場 集約化推移グラフ（原動機付自転車）



※グラフ中の「現状」以降の数字は令和4年6月時点での参考の数字であり、現地の稼働状況等を考慮して適宜変更となる可能性があります。